

サルモネラ症をご存じですか？

サルモネラ症とは、サルモネラ菌によって引き起こされる食中毒のことです。サルモネラ菌の名前は知っていても、食中毒の詳しい原因や症状を知っている方は意外と少ないのではないのでしょうか？

【ヒトへの感染経路】サルモネラ菌は、ウシやブタ、ニワトリなどの腸管内に常在し、これらの食肉や卵料理などを摂取することによる感染がほとんどです。また、ペットのヘビやカメ等との接触により感染することもあり、特に子供への感染に注意が必要です。

【発生・症状】体内に入ってから8～48時間で発症します。一般的な症状は下痢、嘔吐、発熱や腹痛などで、4～7日間続きます。軽い症状の方は特別な治療を受けずに回復しますが、激しい下痢による脱水で、入院治療が必要な場合もあります。また、重篤になると、意識障害、痙攣、菌血症及び致命的な経過をたどる敗血症など様々な疾病に至ることもあります。

【年齢による違い】成人と幼児ではかかりやすさに違いがあります。通常成人では食品中で増殖した $10 \sim 10^4$ 個程度の菌の摂取により発症します。2歳以下の幼児、特に生後6カ月から1歳迄の乳児は成人よりも極めてかかりやすく新生児の間ではしばしば流行が起こります。

【菌の排出期間】症状が消えてからも数週間ないし3カ月以上、ときには1年余も糞便からの排菌が継続する場合があります。薬（抗菌剤）の投与により症状は緩解しても排菌が停止しないこともあり油断できません。

上記の特徴から、検査をして初めて感染がわかることもあります。一度検査をしてはいかがでしょうか？

当研究所では、サルモネラ菌を始めとして様々な病原菌の検便検査に対応しております。気になることがございましたらお気軽にご相談ください。